

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2021 年 4 月 28 日

都道府県知事 殿

病院名	高山赤十字病院
開設者	日本赤十字社
	社長 大塚 義治

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第 9 条に基づき、①. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 25 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 26 から 36 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

記入日：西暦 2021 年 4 月 28 日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030366		臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 高山赤十字病院臨床研修病院群 番号 0303663
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ タケチ マキ 氏名(姓) (名) 谷口 真紀		役職 教育研修係長 0577-32-1111 (内線 3362) (直通電話 () —) e-mail : takayama-kenshu@takayama.jrc.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ タカヤマセキジ ユウジ ビョウイン 高山赤十字病院			
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型、協力型記入)	〒506-8550 (岐阜県) 高山市天満町3丁目11番地 電話：(0577) 32—1111 F A X：(0577) 32—6802 二次医療圏 の名称： 飛騨			
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) (基幹型、協力型記入)	フリガナ ニッポンセキジ ユウジ シャチョウ オツカ ヨシハル 日本赤十字社 社長 大塚義治			
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型、協力型記入)	〒105-8521 (東京都) 港区芝大門1-1-3 電話：(03)3438-1311 F A X：() —			
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型、協力型記入)	フリガナ セイマ ミヅル 姓 名 清島 満			
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。			
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。			
8. 病院のホームページアドレス (基幹型、協力型記入)	http:// www.takayama.jrc.or.jp			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 2 ー

病院施設番号： 030366

臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 (基幹型・協力型記入)		常勤： 73 名、非常勤（常勤換算）： 3.9 名 計（常勤換算）： 76.9 名、医療法による医師の標準員数： 34.5 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療 の提供の実績 (基幹型・協力型記入)	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦2019年12月06日、告示番号：第352号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 ③. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有 (130.000) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 8,474 件（うち診療時間外： 7,456 件） 1日平均件数： 23.2 件（うち診療時間外： 20.4 件） 救急車取扱件数： 2,638 件（うち診療時間外： 1,629 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 2 または 3 名、看護師及び准看護師： 3 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（①. 有 0. 無） その他（ 全診療科 ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） (基幹型・協力型記入)		1. 一般： 394 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 (基幹型・協力型記入)		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） (基幹型・協力型記入)		1. 一般： 13.9 日、2. 精神： 0.0 日、3. 感染症： 0.0 日 4. 結核： 0.0 日、5. 療養： 0.0 日
14. 前年度の分娩件数 (基幹型・協力型記入)		正常分娩件数： 201 件、異常分娩件数： 126 件
15. 臨床病理 検討会（CPC）の実施状況 (基幹型・協力型記入)	開催回数	前年度実績： 3 回、今年度見込： 4 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 2 件、今年度見込： 10 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無 () 大学、() 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医の ための宿舎及 び研修医室の 有無 (基幹型・協力型記入)	研修医の宿舎	①. 有（単身用： 11 戸、世帯用： 0 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	①. 有 (1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インター ネット等が利 用できる環境 及び医学教育 用機材の整備 状況 (基幹型・協力型記入)	図書室の広さ	(148.000) m ²
	医学図書数	国内図書： 2,277 冊、国外図書： 99 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 260 種類、国外雑誌： 84 種類
	図書室の利用可能時間	00:00 ~ 24:00 24時間表記
	文献データベース等の 利用環境	Medline等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（ ） 利用可能時間（ 00:00 ~ 24:00 ）24時間表記
	医学教育用機材の整備 状況	医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 3 ー

病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ シバタ トシロ 氏名(姓) 柴田 (名) 敏朗 役職 第三内科部長														
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)														
	診療録の保存期間	(永久保存) 年間保存														
	診療録の保存方法	1. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に: 紙媒体は10年間保存)														
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況	①. 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。														
	安全管理部門の設置状況	職員: 専任 (4) 名、兼任 (1) 名 主な活動内容: 院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報収集、情報提供、医療事故防止のための研修及び教育														
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等: フリガナ カシマ ミツロ 氏名(姓) 中島 (名) 三博 役職 医療安全推進課長 対応時間 (08:30 ~ 17:00) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無: ①. 有 0. 無														
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容: 医療安全管理体制の確立、事故等の院内報告制度、職員研修、相談窓口の設置等														
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容: 事故等の報告に基づく安全確保と改善方策、安全管理のためのマニュアルの整備、職員研修開催等の検討														
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (5) 回 研修の主な内容: 医療安全研修会、危険予知シミュレーションの開催(リスクマネージャー養成ワークショップ、講義・講座等はコロナ禍で中止)														
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備: ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: 安全管理のためのマニュアル整備、医療安全ニュースの発行、事故発生時の対応および防止策の通知														
	20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)	修了: 3 名 中断: 0 名														
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					前々年度	前年度	当該年度	1 年	3	5	6	2 年	7	3	5
	前々年度	前年度	当該年度													
1 年	3	5	6													
2 年	7	3	5													
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (394) 床 ÷ 10 = (39) 名														
	患者数から算出	年間入院患者数 (7,019) 人 ÷ 100 = (70) 名														
23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。		○ 派遣実績 名 → 募集定員加算 名 ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領 25 を参照) ○ 地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 ・ 無) ※ 該当する方を○で囲むこと。														

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

項目 25 までについては、報告時に必ず記入してください。		※			
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士： 1 名（常勤： 1 名、非常勤： 0 名）			
		2. 作業療法士： 9 名（常勤： 9 名、非常勤： 0 名）			
		3. 臨床心理技術者： 1 名（常勤： 0 名、非常勤： 1 名）			
		9. その他の精神科技術職員： 0 名（常勤： 名、非常勤： 名）			
25. 第三者評価の受審状況 (基幹型記入)		1. 有（評価実施機関名： （ 年 月 日）） ②. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。			
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。					
26. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： 高山赤十字病院臨床研修プログラム プログラム番号： 030366305			
27. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 7 名、2 年次： 8 名			
28. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ タニグチ マキ 氏名（姓） 谷口 （名） 真紀 所属 教育研修課 役職 係長 電話：(0577) 32—1111 FAX：(0577) 32—6802 e-mail：takayama-kenshu@takayama.jrc.or.jp URL：http://www.takayama.jrc.or.jp			
		住所 〒506-8550（岐阜県） 高山市天満町3丁目11番地			
		担当部門 教育研修課 担当者氏名 フリガナ タニグチ マキ 姓 谷口 名 真紀 電話：(0577) 32—1111 FAX：(0577) 32—6802 e-mail：takayama-kenshu@takayama.jrc.or.jp URL：http://www.takayama.jrc.or.jp			
		①. 公募 2. その他（具体的に： ）			
		①. 履歴書、②. 卒業（見込み）証明書、③. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）			
		①. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： ）			
		募集時期： 6 月 1 日頃から 選考時期： 8 月 1 日頃から			
		マッチング利用の有無 ①. 有 0. 無			
		募集方法		①. 公募 2. その他（具体的に： ）	
		応募必要書類 （複数選択可）		①. 履歴書、②. 卒業（見込み）証明書、③. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）	
選考方法 （複数選択可）		①. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： ）			
募集及び選考の時期		募集時期： 6 月 1 日頃から 選考時期： 8 月 1 日頃から			
マッチング利用の有無		①. 有 0. 無			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 5 ー

病院施設番号： 030366

臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

29. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)		概要：＊ 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2021 年 4 月 1 日)	
30. プログラム責任者の氏名等 (基幹型記入) ＊ プログラム責任者の履歴を様式2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		(プログラム責任者) フリガナ シロ タカシ 氏名(姓) 白子 (名) 隆志 所属 高山赤十字病院 役職 副院長、第一外科部長、救命救急センター長 (副プログラム責任者) 1. 有 () 名 ①. 無	
31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		＊ 別紙4に記入	
32. インターネットを用いた評価システム		①. 有 (☒ EPDC) その他 () ②. 無	
33. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)		西暦 2021 年 4 月 1 日	
34. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。) 常勤・非常勤の別	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。	
	研修手当	①. 常勤 2. 非常勤 一年次の支給額(税込み) 基本手当/月 (450,000 円) 賞与/年 (740,000 円) 二年次の支給額(税込み) 基本手当/月 (500,000 円) 賞与/年 (1,110,000 円) 時間外手当： ①. 有 ②. 無 休日手当： ①. 有 ②. 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間 (08:30 ~ 17:00) 24時間表記 休憩時間 (45 分) 時間外勤務の有無：①. 有 ②. 無	
	休暇	有給休暇(1年次： 24 日、2年次： 24 日) 夏季休暇(①. 有 ②. 無) 年末年始(①. 有 ②. 無) その他休暇(具体的に：創立記念日5月1日)	
	当直	回数(約 4 回/月)	
	研修医の宿舎(再掲)	①. 有(単身用： 11 戸、世帯用： 戸) ②. 無(住宅手当： 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室(再掲)	①. 有 (1 室) ②. 無 有を選択した場合には、研修医室の座数を記入してください。	
	社会保険・労働保険	公的医療保険(健康保険組合) 公的年金保険(厚生年金、企業年金基金) 労働者災害補償保険法の適用(①. 有 ②. 無)、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 ②. 無) 雇用保険(①. 有 ②. 無)	
	健康管理	健康診断(年 2 回) その他(B型肝炎、麻疹、風疹、水痘、ムンプスなどのワクチン接種を病院負担で実施)	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入(①. する ②. しない) 個人加入(1. 強制 ②. 任意)	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：①. 可 ②. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：①. 有 ②. 無	
35. 研修医手帳 (基幹型記入)		①. 有 ②. 無	
36. 連携状況 (基幹型記入)		＊ 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030366

臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

26. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：高山赤十字病院臨床研修地域医療重点プログラム プログラム番号： 030366306	
27. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1年次： 1 名、2年次： 0 名	
28. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ タニグチ マチ	
		氏名(姓)	(名)
		谷口	真紀
		所属	役職
		教育研修課	係長
	電話：(0577) 32—1111 F A X：(0577) 32—6802		
	e-mail：takayama-kenshu@takayama.jrc.or.jp		
	URL：http://www.takayama.jrc.or.jp		
資料請求先	住所		
	〒506-8550 (岐阜県)		
	高山市天満町3丁目11番地		
	担当部門	担当者氏名	
	教育研修課	フリガナ タニグチ マチ	
	姓	名	
	谷口	真紀	
電話：(0577) 32—1111 F A X：(0577) 32—6802			
e-mail：takayama-kenshu@takayama.jrc.or.jp			
URL：http://www.takayama.jrc.or.jp			
募集方法	①. 公募 2. その他(具体的に：)		
応募必要書類 (複数選択可)	①. 履歴書、②. 卒業(見込み)証明書、③. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他(具体的に：)		
選考方法 (複数選択可)	①. 面接 2. 筆記試験 その他(具体的に：)		
募集及び選考の時期	募集時期： 6月 1日頃から 選考時期： 8月 1日頃から		
マッチング利用の有無	①. 有 0. 無		
29. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)		概要：* 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2021年4月1日)	
30. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入) * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		(プログラム責任者) フリガナ ヤマギシ アツシ 氏名(姓) 山岸 (名) 篤至 所属 役職 高山赤十字病院 第一小児科部長 (副プログラム責任者) 1. 有(名) ①. 無	
31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入	
32. インターネットを用いた評価システム		①. 有(☒ EPOC) その他() 0. 無	
33. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)		西暦 2022年 4月 1日	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

34. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。	
	常勤・非常勤の別	①. 常勤 2. 非常勤	
	研修手当	一年次の支給額(税込み) 基本手当／月 (450,000 円) 賞与／年 (740,000 円)	二年次の支給額(税込み) 基本手当／月 (500,000 円) 賞与／年 (1,110,000 円)
		時間外手当： ①. 有 0. 無 休日手当： ①. 有 0. 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間 (08:30 ～ 17:00) 24時間表記 休憩時間 (45 分) 時間外勤務の有無：①. 有 0. 無	
	休暇	有給休暇(1年次： 24 日、2年次： 24 日) 夏季休暇(①. 有 0. 無) 年末年始(①. 有 0. 無) その他休暇(具体的に：創立記念日5月1日)	
	当直	回数(約 4 回／月)	
	研修医の宿舎(再掲)	①. 有(単身用： 11 戸、世帯用： 戸) 0. 無(住宅手当： 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室(再掲)	②. 有(1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
	社会保険・労働保険	公的医療保険(健康保険組合) 公的年金保険(厚生年金、企業年金基金) 労働者災害補償保険法の適用(①. 有 0. 無)、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 ①. 無) 雇用保険(①. 有 0. 無)	
	健康管理	健康診断(年 2 回) その他(Ｂ型肝炎、麻疹、風疹、水痘、ムンプスなどのワクチン接種を病院負担で実施)	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入(①. する 0. しない) 個人加入(1. 強制 ①. 任意)	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：①. 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：①. 有 0. 無	
35. 研修医手帳 (基幹型記入)		①. 有 0. 無	
36. 連携状況 (基幹型記入)		* 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。

2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。

3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。

4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。

5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。

6 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。

7 （1. 有 0. 無）のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。

8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。

9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。

10 ※欄は、記入しないこと。

11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。

12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

（1）「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医業発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

（2）「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。

（3）「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

（4）「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

（5）「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \frac{\text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

（6）当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15 「救急医療の提供の実績」欄について

（1）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。

（2）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。

（3）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。

（4）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、すべての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

（5）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

（6）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。

（7）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について

（1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

こと。

- (2)「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
 - (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（金額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること）。
 - (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
 - (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他()」にその内容を記入すること。
 - (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
 - (1)「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (2)「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
 - (1)「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
 - (2)「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
 - (3)「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数÷報告・届出年度の前年度の新規入院患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別業に記入すること。
- 28 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 29 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 30 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
 - (1)「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - (4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
 - (5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 31 「研修医の処遇」欄について
 - (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
 - (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
 - (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
 - (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有

無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

別表
No.1

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：高山赤十字病院（岐阜県）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
岐阜県	飛騨	高山赤十字病院 (病院施設番号: 030366)		愛知県	名古屋		名古屋第一赤十字病院 (病院施設番号: 030401)		岐阜県	飛騨		高山市国民健康保険荏川診療所 (病院施設番号: 032821)		高山赤十字病院臨床研修一般プログラム	7
				愛知県	名古屋		名古屋第二赤十字病院 (病院施設番号: 030402)		岐阜県	飛騨		高山市国民健康保険久々野診療所 (病院施設番号: 032823)		高山赤十字病院臨床研修地域医療重点プログラム	1
				鳥取県	鳥取		鳥取赤十字病院 (病院施設番号: 031011)		岐阜県	飛騨		高山市国民健康保険清見診療所 (病院施設番号: 032824)			
				岐阜県	飛騨		特定医療法人生仁会須田病院 (病院施設番号: 030824)		岐阜県	飛騨		高山市国民健康保険明日診療所 (病院施設番号: 032830)			
				岐阜県	飛騨		岐阜県厚生連高瀬総合診療センター 久美野診療所 (病院施設番号: 030771)		岐阜県	岐阜		高山市国民健康保険高瀬診療所 (病院施設番号: 147611)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		高島内科クリニック (病院施設番号: 126922)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		国民健康保険飛騨市市民病院 (病院施設番号: 094322)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		白川村国民健康保険白川診療所 (病院施設番号: 137287)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		岐阜ハートセンター (病院施設番号: 111230)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		河野ファミリークリニック (病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		高山赤十字介護老人保健施設 はなさと (病院施設番号: 032819)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	岐阜		岐阜県赤十字血液センター (病院施設番号: 032830)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		岐阜県飛騨保健所 (病院施設番号: 033575)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨	削除	丹生川診療所 (病院施設番号: 076535)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ① へき地・離島等を含めた医師不足地域における地域医療研修である
- ② 生活圏を同じくする県境を越えた隣接する二次医療圏における協力型病院及び研修協力施設との連携である
- ③ その他、基幹型病院と地域医療の上で連携が強く、十分な指導体制のもとで様々なバリエーションの経験及び能力形成が可能であり、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるような基本的な診療能力を身に付ける

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に記述すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和2年度開催回数 2回）

病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

氏名		所属	役職	備考
シロコ タカシ		高山赤十字病院	副院長、救急部長、 外科部長、救命救急センター長	研修管理委員長 プログラム責任者（一般）、指導医
白子	隆志			
シバタ トシロウ		高山赤十字病院	内科部長	指導医
柴田	敏朗			
ヤマギシ アツシ		高山赤十字病院	小児科部長	指導医 プログラム責任者（地域医療重点）
山岸	篤至			
セイシマ ミツル		高山赤十字病院	院長	研修実施責任者 指導医
清島	満			
ニシオ マサル		高山赤十字病院	副院長	指導医
西尾	優			
タケナカ カツノブ		高山赤十字病院	副院長、放射線科部長、眼科部長	指導医
竹中	勝信			
シロコ ジュンコ		高山赤十字病院	内科部長	指導医
白子	順子			
カワカミ ツヨシ		高山赤十字病院	内科部長	指導医
川上	剛			
クワハラ ヒロユキ		高山赤十字病院	循環器内科部長	指導医
桑原	弘幸			
ヤノ リュウイチロウ		高山赤十字病院	産婦人科部長	指導医
矢野	竜一朗			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和元年度開催回数 2回）

病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

氏名		所属	役職	備考
サノ ブン		高山赤十字病院	外科部長	指導医
佐野	文			
ミチノ トモヒロ		高山赤十字病院	麻酔科部長	指導医
道野	朋洋			
マエダ マサト		高山赤十字病院	整形外科部長	指導医
前田	雅人			
ナカガワ ジロウ		高山赤十字病院	脳神経外科部長	指導医
中川	二郎			
ウキタ マサト		高山赤十字病院	医療社会事業部長	指導医
浮田	雅人			
イマイ ススム		高山赤十字病院	患者サポートセンター副センター長	指導医
今井	奨			
フルセ トモコ		高山赤十字病院	看護副部長	
古瀬	智子			
ワカタ タツロウ		高山赤十字病院	薬剤副部長	
若田	達朗			
ナカウエ フクミ		高山赤十字病院	医事課長	
中上	富久美			
アラカワ ユキオ		高山赤十字病院	総務企画課長	
荒川	幸雄			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和元年度開催回数 2回）

病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

氏名		所属	役職	備考
ウツミヤ キヨカズ		高山赤十字病院	事務部長兼医療情報課長事務取扱	
宇津宮	清和			
ノノジリ ユミコ		高山赤十字病院	教育研修課長	事務部門の責任者
野々尻	優美子			
オオニシ カズヒコ		高山赤十字病院	職員課長	
大西	一彦			
ムトウ トシシゲ		むとうクリニック	高山市医師副会長	外部委員
武藤	利茂			
カトウ ヒデアキ		特定医療法人生仁会 須田病院	院長	研修実施責任者
加藤	秀明			
ヨシダ ユキヒコ		名古屋第二赤十字病院	副院長	研修実施責任者 指導医
吉田	幸彦			
オギノ カズヒデ		鳥取赤十字病院	副院長	研修実施責任者 指導医
荻野	和秀			
ヤマグチ タケオ		名古屋第一赤十字病院	副院長	研修実施責任者 指導医
山口	丈夫			
モリオカ ジュン		岐阜県厚生農業協同組合連合会	副院長	研修実施責任者 指導医
森岡	淳	飛騨医療センター 久美愛厚生病院		
クロキ ヨシト		国民健康保険 飛騨市民病院 病院長	院長	研修実施責任者 指導医
黒木	嘉人			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和元年度開催回数 2回）

病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

氏名		所属	役職	備考
カワシリ ヒロアキ		高山市国民健康保険 高根診療所	所長	研修実施責任者
川尻	宏昭	高山市国民健康保険 朝日診療所		指導医
クマダ ヒロカズ		高山市国民健康保険 荘川診療所	所長	研修実施責任者
熊田	裕一			指導医
バン テツアキ		高山市国民健康保険 清見診療所	所長	研修実施責任者
阪	哲彰			指導医
コダマ カズキ		高山市国民健康保険 久々野診療所	所長	研修実施責任者
児玉	一貴			
ヒロセ ヨシカズ		高山赤十字介護老人保健施設はなさと	医師	研修実施責任者
廣瀬	良和			指導医
ウジヒラ タカトシ		岐阜県飛騨保健所	所長	研修実施責任者
氏平	高敏			
タカハシ タケシ		岐阜県赤十字血液センター	所長	研修実施責任者
高橋	健			指導医
タカクワ カオル		高桑内科クリニック	院長	研修実施責任者
高桑	薫			指導医
オオニシ ケンスケ		県北西部地域医療センター 国保白川	所長	研修実施責任者
大西	権亮	診療所		
カワノ シュウイチ		河野ファミリークリニック	院長	研修実施責任者
河野	修一			指導医

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

[illegible]

※ １ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：高山赤十字病院

病院施設番号：030366

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 (部 門)	小 児 科	産 婦 人 科	精 神 科	その他の研修を行う診療科										合 計
								耳 鼻 咽 喉 科	脳 神 経 外 科	泌 尿 器 科	整 形 外 科	皮 膚 科	放 射 線 科	眼 科	循 環 器 内 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	病 理 診 断 科	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	2,576	(8,474)	658	0	557	975 (327)	0	191	447	528	637	11	0	121	318	0	—	7,019
年間新外来患者数	3,136		672	16	1,123	684	2	635	670	498	1,451	579	32	160	249	0	—	9,907
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	180.7 (242)	(365)	38.5 (242)	1.5 (242)	42.1 (242)	49.9 (242)	7.4 (242)	30.4 (242)	21.2 (242)	43.6 (242)	70.7 (242)	24.8 (242)	16.8 (242)	22 (242)	14.8 (242)	163.6 (242)	— (242)	
平均在院日数	16.7		10.3	—	6.2	5.0	—	8.3	38.2	7.4	25.8	18.1	—	2.7	8.7	—	—	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	19 (9)	()	8 (4)	1 (1)	5 (5)	5 (2)	()	2 (1)	4 (2)	3 (1)	5 (3)	1 (1)	2 (1)	1 (0)	2 (0)	1 (1)	1 (1)	60 (32)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11.の救急医療の実績の前年度の件数及び15.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和3年度分)								臨床研修病院の名称：高山赤十字病院						
								病院施設番号：030366						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～16 週	17～20 週	21～24 週	25～28 週	29～32 週	33～36 週	37～40 週	41～44 週	45～48 週	49～52 週
高山赤十字病院	内科	3	3	3	4	3	3	2	3	2	2	3	4	4
岐阜大学医学部附属病院	内科	1	1	1		1			1	1	1			
	内科合計	4	4	4	4	4	3	2	4	3	3	3	4	4
高山赤十字病院	救急部門				1	2	3	3	1	2	2	1	1	2
岐阜大学医学部附属病院	救急部門				1							1	1	
	救急部門合計				2	2	3	3	1	2	2	2	2	2
高山赤十字病院	外科	3	3	4	1	1			2	1	2	1	1	1
岐阜大学医学部附属病院	外科						1	1						
	外科合計	3	3	4	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1
高山赤十字病院	小児科							1	1	1	1	1	1	1
岐阜大学医学部附属病院	小児科													
久美愛厚生病院	小児科					1				1				
朝日大学病院	小児科					1								
岐阜赤十字病院	小児科				1									
	小児科合計				1	2		1	1	2	1	1	1	1
高山赤十字病院	産婦人科			1		1				1	1	1		
久美愛厚生病院	産婦人科						1	1						
岐阜赤十字病院	産婦人科													
	産婦人科合計			1		1	1	1		1	1	1		

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分)								臨床研修病院の名称：高山赤十字病院						
								病院施設番号：030366						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～16 週	17～20 週	21～24 週	25～28 週	29～32 週	33～36 週	37～40 週	41～44 週	45～48 週	49～52 週
高山赤十字病院	内科	3	4	4	4	4	5	4	4	5	5	5	5	4
高山赤十字病院	救急部門	3	2	2	2	3	2	1	1	1	2	2	1	2
高山赤十字病院	外科	3	2	3	2	2	1	3	2	2	1	1		
高山赤十字病院	小児科							1	1	1		1	2	2
久美愛厚生病院	小児科				1	1	1							
朝日大学病院	小児科			1	1	1	1	1	1					
岐阜赤十字病院	小児科		1											
	小児科合計		1	1	2	2	2	2	2	1		1	2	2
高山赤十字病院	産婦人科		1		1		1		1		1		1	
久美愛厚生病院	産婦人科			1						1		1		
岐阜赤十字病院	産婦人科	1												
	産婦人科合計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号: 030366305

病院施設番号: 030366

臨床研修病院の名称: 高山赤十字病院

臨床研修病院群番号: 0303663

臨床研修病院群名: 高山赤十字病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	高山赤十字病院臨床研修プログラム																																												
2. 研修プログラムの特色	当院は岐阜県北部の飛騨地域にあり、中核病院としての役割を期待されている。このため救命救急センターを併設し1次より3次までの救急を担当している。さらに一般病棟のみならず、回復期病棟、老人保健施設を有し、超急性期から急性期、慢性期、回復期、高齢者医療まで幅広いプライマリケアの修得が可能である。一貫した研修体制の下で垣根のない指導が受けられ、内科25週、外科8週、小児科4週、救急科12週、外科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療4週を研修し、残りの37週は研修医の希望により診療科を選択し、幅広く研修を行う。																																												
3. 臨床研修の目標の概要	当院は昭和56年2月に臨床研修病院に指定された。当初より研修医には幅広い臨床能力を修得し、日常よく遭遇する疾患に対するプライマリケアができることを目標にしてきたが、今後もこの姿勢を継続する。研修医時代に医師としての基本が形成されることにより、臨床能力のみならず人格の涵養も大切で、人間味ある臨床医を目標にしている。当院には医師として臨床経験が豊富な指導医が多く、2年間の研修で医師としての基本を修得することが可能である。																																												
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)																																												
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。																																												
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院施設番号</th> <th>病院又は施設の名称</th> <th>研修期間</th> <th>内一般外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(記入例) x x 科</td> <td>1234567</td> <td>〇〇 病院</td> <td>〇週</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">必修科目・分野</td> <td rowspan="2">内科</td> <td>030366</td> <td>高山赤十字病院</td> <td>1週</td> </tr> <tr> <td>030771</td> <td>岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院</td> <td>25週</td> </tr> <tr> <td>救急部門</td> <td>030366</td> <td>高山赤十字病院</td> <td>12週</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">地域医療</td> <td>031644</td> <td>国民健康保険飛騨市民病院</td> <td rowspan="8">4週</td> <td rowspan="8">一般外来 1週 在宅診療 1週</td> </tr> <tr> <td>032821</td> <td>高山市国民健康保険荘川診療所</td> </tr> <tr> <td>032823</td> <td>高山市国民健康保険久々野診療所</td> </tr> <tr> <td>032824</td> <td>高山市国民健康保険清見診療所</td> </tr> <tr> <td>032838</td> <td>高山市国民健康保険朝日診療所</td> </tr> <tr> <td>076535</td> <td>丹生川診療所</td> </tr> <tr> <td>126922</td> <td>高桑内科クリニック</td> </tr> <tr> <td>137287</td> <td>白川村国民健康保険白川診療所</td> </tr> <tr> <td>147611</td> <td>高山市国民健康保険高根診療所</td> </tr> </tbody> </table>				病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	必修科目・分野	内科	030366	高山赤十字病院	1週	030771	岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院	25週	救急部門	030366	高山赤十字病院	12週	地域医療	031644	国民健康保険飛騨市民病院	4週	一般外来 1週 在宅診療 1週	032821	高山市国民健康保険荘川診療所	032823	高山市国民健康保険久々野診療所	032824	高山市国民健康保険清見診療所	032838	高山市国民健康保険朝日診療所	076535	丹生川診療所	126922	高桑内科クリニック	137287	白川村国民健康保険白川診療所	147611	高山市国民健康保険高根診療所
病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来																																										
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週																																										
必修科目・分野	内科	030366	高山赤十字病院	1週																																									
		030771	岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院	25週																																									
	救急部門	030366	高山赤十字病院	12週																																									
	地域医療	031644	国民健康保険飛騨市民病院	4週	一般外来 1週 在宅診療 1週																																								
		032821	高山市国民健康保険荘川診療所																																										
		032823	高山市国民健康保険久々野診療所																																										
		032824	高山市国民健康保険清見診療所																																										
		032838	高山市国民健康保険朝日診療所																																										
		076535	丹生川診療所																																										
		126922	高桑内科クリニック																																										
		137287	白川村国民健康保険白川診療所																																										
	147611	高山市国民健康保険高根診療所																																											

		2701954	河野ファミリークリニック		
	外科	030366	高山赤十字病院	1 2 週	1 週
	小児科	030366	高山赤十字病院	4 週	1 週
	産婦人科	030366	高山赤十字病院	4 週	
	精神科	030824	特定医療法人生仁会須田病院	4 週	
	一般外来			週	
選択 科目	全診療科	030366	高山赤十字病院	3 7 週	0 週
		030401	名古屋第一赤十字病院		
		030402	名古屋第二赤十字病院		
		030771	岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院		
		030824	特定医療法人生仁会須田病院		
		031011	鳥取赤十字病院		
		031644	国民健康保険飛騨市民病院		
		111230	岐阜ハートセンター		
		032819	高山赤十字介護老人保健施設はなさと		
		032830	岐阜県赤十字血液センター		
		033575	飛騨保健所		
		030366	高山赤十字病院	2 週	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 92 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りではない。

※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

・CPC実施施設：高山赤十字病院

・内科：主治医として患者を受け持ち、総合的な研修を行う。

指導医が不在となった分野は、久美愛厚生病院で研修する場合もある。

・救急部門：麻酔科（4 週）、脳神経外科（4 週）、整形外科（4 週）にて救急対応を研修する。

・地域医療：へき地診療所、開業医等にて研修する。

・一般外来：内科・外科・小児科・地域医療研修において並行研修する。

・選択科目：当院の全診療科を対象とする。

以下の施設でも研修が可能。

名古屋第一赤十字病院（全診療科）

名古屋第二赤十字病院（全診療科）

岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院（全診療科）

特定医療法人生仁会須田病院（精神科）

鳥取赤十字病院（全診療科）

国民健康保険飛騨市民病院（全診療科）

岐阜ハートセンター（循環器内科）

（他協力施設の各診療所）

・選択科目としての院外研修は 8 週以内とする。

・当直回数：4～5 回／月

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 030366	臨床研修病院の名称：高山赤十字病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 0303663	臨床研修病院群名：高山赤十字病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)		プログラム番号 030366305															
臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1		(No. 1)															
病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野*2	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週			
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5															
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3															
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3													
高山赤十字病院 (030366)	オリエンテー ション	7	7														
	内科		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	外科		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	小児科										1	1	1	1	1	1	1
	救急部門		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	選択科																7

*1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別業に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

は、既に取得されている場合に記入してください。

临床研修病院群番号： 0303663

臨床研修病院群名：高山赤十字病院臨床研修病院群

プログラム番号 030366305

(No. 1)

[illegible]

[illegible]

- * 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別業に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- * 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- * 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030366306

病院施設番号： 030366

臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

臨床研修病院群番号： 0303663

臨床研修病院群名： 高山赤十字病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	高山赤十字病院臨床研修地域医療重点プログラム			
2. 研修プログラムの特色	医師少数区域の飛騨地域にある中核病院で、救命救急センターを併設。一次から三次までの救急を担当し、二次医療圏のあらゆる疾患を経験できる。さらに一般病棟のみならず、回復期病棟、老人保健施設を有し、超急性期から急性期、慢性期、回復期、高齢者医療まで幅広いプライマリケアの修得が可能である。また地域医療支援病院に承認され、近隣の「かかりつけ医」や社会医療サービスとの連携をはかり地域医療を実践することができる。 1年目に内科25週、外科8週、小児科4週、救急科12週、2年目に外科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療12週を研修し、残りの29週は研修医の希望により診療科を選択し、幅広く研修を行う。			
3. 臨床研修の目標の概要	幅広い臨床能力を修得し、日常よく遭遇する疾患に対するプライマリケアの習得と、将来、地域医療に貢献することを重視する医師が、地域医療において必要な診断、治療上の基礎的知識、技能を得るとともに、研修医時代に医師としての基本が形成されることから、臨床能力のみならず人格の涵養も大切で、人間味ある臨床医を目標とする。			
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。			
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目 ・ 分野	内科	030366 高山赤十字病院	25週	1週
		030771 岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院		
	救急部門	030366 高山赤十字病院	12週	
	地域医療	031644 国民健康保険飛騨市民病院	12週	一般外来 1週 在宅診療 1週
		032821 高山市国民健康保険荏川診療所		
		032823 高山市国民健康保険久々野診療所		
		032824 高山市国民健康保険清見診療所		
		032838 高山市国民健康保険朝日診療所		
		126922 高桑内科クリニック		
		137287 白川村国民健康保険白川診療所		
147611 高山市国民健康保険高根診療所				
2701954 河野ファミリークリニック				

		外科	030366	高山赤十字病院	12週	1週
		小児科	030366	高山赤十字病院	4週	1週
		産婦人科	030366	高山赤十字病院	4週	
		精神科	030824	特定医療法人生仁会須田病院	4週	
		一般外来			週	
選択科目	全診療科	030366	高山赤十字病院	29週		
		030401	名古屋第一赤十字病院			
		030402	名古屋第二赤十字病院			
		030771	岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院			
		030824	特定医療法人生仁会須田病院			
		031011	鳥取赤十字病院			
		031644	国民健康保険飛騨市民病院			
		111230	岐阜ハートセンター			
		032819	高山赤十字介護老人保健施設はなさと			
		032830	岐阜県赤十字血液センター			
		033575	飛騨保健所			
	地域医療	032821	高山市国民健康保険荘川診療所			
		032823	高山市国民健康保険久々野診療所			
		032824	高山市国民健康保険清見診療所			
		032838	高山市国民健康保険朝日診療所			
		126922	高桑内科クリニック			
		137287	白川村国民健康保険白川診療所			
		147611	高山市国民健康保険高根診療所			
		2701954	河野ファミリークリニック			
その他 入職時オリエンテーション	030366	高山赤十字病院	2週			
備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 84 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 20 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること						
・CPC実施施設：高山赤十字病院 ・救急部門：麻酔科（4 週）、脳神経外科（4 週）、整形外科（4 週）にて救急対応を研修する。 ・一般外来：内科・外科・小児科・地域医療研修において並行研修する。 ・選択科目としての院外研修は8 週以内とする。 ・当直回数：4～5 回／月						

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 030366	臨床研修病院の名称：高山赤十字病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 0303663	臨床研修病院群名：高山赤十字病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)															プログラム番号 030366306														
臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1															(No. 1)														
病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野*2	1～ 4週		5～ 8週		9～ 12週		13～ 16週		17～ 20週		21～ 24週		25～ 28週		29～ 32週		33～ 36週		37～ 40週		41～ 44週		45～ 48週		49～ 52週			
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5																											
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科		3																										
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科					3																							
高山赤十字病院 (030366)	オリエンテーシ ョン	1	1																										
	内科				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1									1	1	1	1	1	1	1
	外科																	1	1	1	1	1	1	1					
	小児科													1	1	1	1												
	救急部門		1	1	1	1					1	1	1	1			1	1	1	1									
	選択科目																											1	

* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別業に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

は、既已取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号： 0303663

臨床研修病院群名: 高山赤十字病院臨床研修病院群

プログラム番号 030366306

(No. 1)

[illegible]

久美愛厚生病院 (030771)
特定医療法人生仁会 須田病院 (030824)
鳥取赤十字病院 (031011)
飛騨市民病院 (031644)
岐阜ハートセンター (111230)
荘川診療所 (032821)
久々野診療所 (032823)
清見診療所 (032824)
朝日診療所 (032838)
高桑内科クリニック (126922)
白川診療所 (147287)
高根診療所 (147611)
河野ファミリークリ ニック (2701954)
高山赤十字介護老人保健 施設はなさと (032819)
岐阜県赤十字血液セ ンター (033575)
飛騨保健所 (033575)

- * 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- * 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- * 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030366

臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	清島 満	高山赤十字病院	病院長	43	○	日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会認定肝臓専門 医、日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医・指導医、日 本臨床検査医学会臨床検査専門医・管理医、第3回岐阜県 医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受 講	030366304 030366305 030366306	3・4
内科	西尾 優	高山赤十字病院	副院長 呼吸器科部長	37	○	ICD制度協議会認定インフェクションコントロールド クター、第1回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会受 講	030366304 030366305 030366306	4
内科	浮田 雅人	高山赤十字病院	医療社会事業部長	33	○	日本内科学会指導医・認定内科医、日本医師会産業医、日 本医師会「指導医のための教育ワークショップ」受講	030366304 030366305 030366306	4
内科	白子 順子	高山赤十字病院	第一内科部長 健診部長	37	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日 本肝臓学会専門医、日本消化器病学会指導医・専門医、 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、平成24年度プロ グラム責任者養成講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
内科	川上 剛	高山赤十字病院	第二内科部長	31	○	日本内科学会認定内科医・指導医、平成15年度臨床研修指 導医養成講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
内科	柴田 敏朗	高山赤十字病院	第三内科部長 人工腎センター長	33	○	日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専 門医・指導医・認定内科医、日本内分泌学会専門医・指導 医、平成15年度臨床研修指導医養成講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
内科	今井 奨	高山赤十字病院	検査部長	19	○	日本内科学会認定産業医 マンモグラフィ健診制度管理中央委員会統影認定医 第3回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導 医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
内科	福野 賢二	高山赤十字病院	血液内科部長 輸血部長	27	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本血液学 会認定血液専門医・指導医、日本造血細胞移植学会造血 細胞移植認定医、日本輸血・細胞治療学会認定医、日本 臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、第7回岐阜県医師育 成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
内科	西野 彰	高山赤十字病院	医師	10	○	日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会専門医 第20回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指 導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
外科	白子 隆志	高山赤十字病院	副院長 第一外科部長 救命救急センター長 教育研修推進室長	36	○	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本救急医学会 認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・ 指導医、がん外科治療認定医、麻酔科標榜医、平成21年 度プログラム責任者養成講習会受講	030366304 030366305 030366306	1・4
外科	井川 愛子	高山赤十字病院	がん治療研究部長	24	○	日本外科学会専門医、日本乳癌学会認定医、日本がん治 療認定医機構がん治療認定医、第12回日本赤十字社臨床 研修指導医養成講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
外科 麻酔科	佐野 文	高山赤十字病院	第二外科部長	25	○	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本がん治療 認定機構がん治療認定医、日本消化器外科学会専門医、消 化器がん外科治療認定医、信州薬科医師卒後教育ワー クショップ受講	030366304 030366305 030366306	4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	櫻谷 卓司	高山赤十字病院	第二外科副部長	14	○	日本外科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、第17回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
麻酔科	道野 朋洋	高山赤十字病院	麻酔科部長	26	○	日本麻酔科学会専門医・指導医、第16回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
救急科・選択科（整形外科）	前田 雅人	高山赤十字病院	第一整形外科部長	33	○	日本整形外科学会専門医・認定医、義肢装具等適合判定医師、第10回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
救急科・選択科（整形外科）	齊藤 満	高山赤十字病院	第二整形外科副部長	22	○	日本整形外科学会専門医、第14回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
救急科・選択科（整形外科）	竹内 健太郎	高山赤十字病院	医師	15	○	日本整形外科学会専門医、第15回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
救急科・選択科（脳神経外科）	竹中 勝信	高山赤十字病院	副院長 脳神経外科部長 放射線科部長 眼科部長	35	○	日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、臨床遺伝専門医、日本神経内視鏡研究会技術認定医、四病院団体協議会「臨床研修指導者養成課程講習会」受講	030366304 030366305 030366306	4
救急科・選択科（脳神経外科）	中川 二郎	高山赤十字病院	脳神経外科部長	23	○	日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、第3回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
小児科	山岸 篤至	高山赤十字病院	第一小児科部長	32	○	日本小児科学会専門医・認定医、産科医療保障制度診断協力医、第5回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会受講	030366304 030366305 030366306	1・4
小児科	川尻 美和	高山赤十字病院	第二小児科部長	27	○	日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医（小児科）、アメリカ心臓協会（AHA）PALSプロバイダー認定・ヘルスケアプロバイダー認定、信州薬科医師卒後教育ワークショップ2010受講	030366304 030366305 030366306	4
小児科	臼井 新治	高山赤十字病院	第一小児科副部長	16	○	日本小児科学会専門医、日本化学療法学会抗がん化学療法認定医、ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター、第9回小児科医のための臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
小児科	反中 絵美	高山赤十字病院	第二小児科副部長	15	○	第15回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
小児科	長柄 俊佑	高山赤十字病院	医師	12	○	日本小児科学会主催第23回小児科医のための臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
産婦人科	矢野 竜一朗	高山赤十字病院	産婦人科部長	23	○	日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、第6回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030366 臨床研修病院の名称： 高山赤十字病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
産婦人科	加藤 雄一郎	高山赤十字病院	産婦人科副部長	16	○	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医・子宮鏡技 術認定医 聖隷福祉事業団「聖隷福祉事業団指導医養成講習会」	030366304 030366305 030366306	4
選択科（耳鼻 咽喉科）	高橋 洋城	高山赤十字病院	耳鼻咽喉科部長	20	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医、補聴器適合判定医、第1回 岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講 習会受講	030366304 030366305 030366306	4
選択科 （泌尿器科）	柚原 一哉	高山赤十字病院	泌尿器科部長	34	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡学 会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会腹腔鏡 技術認定医、第7回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習 会受講	030366304 030366305 030366306	4
選択科 （皮膚科）	市橋 直樹	高山赤十字病院	皮膚科部長	33	○	日本皮膚科学会専門医、平成18年度第2回京都大学医学部 附属病院医師臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
選択科 （放射線科）	齊藤 聡子	高山赤十字病院	放射線科副部長	19	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医、第15回岐阜県医 師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会受講	030366304 030366305 030366306	4
選択科 （リハビリ テーション 科）	村川 孝次	高山赤十字病院	リハビリテーショ ン科部長	39	○	日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日 本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門 医、日本リハビリテーション医学会指導責任者、第10回 岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講 習会受講	030366304 030366305 030366306	4
病理・選択科 （病理）	岡本 清尚	高山赤十字病院	病理診断科部長	32	○	日本病理学会認定医・病理専門医・研修指導医、第4回日 本赤十字社臨床研修指導医養成講習会受講	030366304 030366305 030366306	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。
 ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
 ※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
 ※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）
 ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
 * 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
 ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
 ※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No. ）」欄にページ数を記入すること。